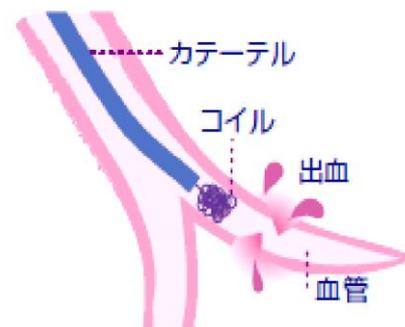


小腸出血に対する動脈塞栓術



日本IVR学会パンフレットより転載

胃や大腸からの出血はほとんどの症例で内視鏡での治療が可能です。小腸出血は内視鏡が到達しづらく治療が困難です。

カテーテルから造影剤を注入すると造影剤が腸管内に漏れているのが確認でき（○印）、カテーテルを出血部位近傍にまで進め、コイル（金属製で血管内で丸まる血管腔を塞ぐ器具）を用いて止血しました。